

INTERVIEW

安井順一東京都技監に聞く

持続的発展でできる都市像描く

四大技術だけでなく、医療や環境など様々な技術職種によって支えられる都政。そのトップとなる都技監に今夏、安井都市整備局長が就任した。

「技術職には都政の多くの部分を担っている自負を持って仕事をしたい。彼らが生き生きと仕事が出来、環境を作ることが私の役割」と抱負を語る。

ミッションの一つが、都市整備局が中心となってまとめる2040年代を目標年次とした「都市づくりのグランドデザイン」の策定だ。

「人口減少・少子高齢化社会を前提とした都市づくりは、どの自治体も取り組んだこと

が無い。持続的に発展できる都市の姿をきちんと示したい」と静かに語る。

「都市は都民や企業が活動する器。社会や市場の動向に合わせるのではなく、行政として企業活動や都民の生活が望ましい方向に向かうためのビジョンを明らかにしたい」と安井氏。

一口に東京の将来像と言っ

た新国立競技場の計画は白紙となり、都から職員を派遣

ても、区部と多摩地域では課題が異なる。「多摩地域は区部から放射方向に発展してき

が重要。40年代には南北道路や圏央道、リニア中央新幹線も完成し、区部よりも先に人

紙となり、都から職員を派遣

が重要だと言え安井氏

が重要。40年代には南北道路や圏央道、リニア中央新幹線も完成し、区部よりも先に人

が重要。40年代には南北道路や圏央道、リニア中央新幹線も完成し、区部よりも先に人

が重要。40年代には南北道路や圏央道、リニア中央新幹線も完成し、区部よりも先に人

が重要。40年代には南北道路や圏央道、リニア中央新幹線も完成し、区部よりも先に人

「例えば東京は交通インフラが整備されているが、インフラ相互の利用しやすさを高めることが大切。また、都市の器だけでなく、困っている外国人がいれば声を掛けるなどのホスピタリティ面も重要だ。グランドデザインでは「職員の求めるものは、専門性を軸にした突破力だ。すぐ行くとが楽しみの一つ」と

「例えば東京は交通インフラが整備されているが、インフラ相互の利用しやすさを高めることが大切。また、都市の器だけでなく、困っている外国人がいれば声を掛けるなどのホスピタリティ面も重要だ。グランドデザインでは「職員の求めるものは、専門性を軸にした突破力だ。すぐ行くとが楽しみの一つ」と

「例えば東京は交通インフラが整備されているが、インフラ相互の利用しやすさを高めることが大切。また、都市の器だけでなく、困っている外国人がいれば声を掛けるなどのホスピタリティ面も重要だ。グランドデザインでは「職員の求めるものは、専門性を軸にした突破力だ。すぐ行くとが楽しみの一つ」と

「例えば東京は交通インフラが整備されているが、インフラ相互の利用しやすさを高めることが大切。また、都市の器だけでなく、困っている外国人がいれば声を掛けるなどのホスピタリティ面も重要だ。グランドデザインでは「職員の求めるものは、専門性を軸にした突破力だ。すぐ行くとが楽しみの一つ」と

「例えば東京は交通インフラが整備されているが、インフラ相互の利用しやすさを高めることが大切。また、都市の器だけでなく、困っている外国人がいれば声を掛けるなどのホスピタリティ面も重要だ。グランドデザインでは「職員の求めるものは、専門性を軸にした突破力だ。すぐ行くとが楽しみの一つ」と



秋にはインクランドで開催されるW杯にも行きたいと話すが、「議会で忙しいので無理かな」と笑顔を見せた。早大理工卒、61歳、59A。

新国立 整合性あるスポーツ機能集積へ